

本文

【白文】

宋有^二狙公者^一、愛^レ狙。①養^レ之成^レ群、能解^二狙之意^一、狙亦得^二公之心^一。損^二其家口^一、充^二狙之欲^一。俄而匱焉。將^レ限^二其食^一、恐^下衆狙之不^レ馴^二於己^一也、先誑^レ之曰、「与^二若茅^一、朝三而暮四、足乎。」衆狙皆起而怒。俄而曰、「与^二若茅^一、朝四而暮三、足乎。」衆狙皆伏而喜。

【書き下し文】

宋（そう）に狙公（そこう）なる者有り、狙（さる）を愛す。之を養ひて群（むれ）を成し、能（よ）く狙の意を解し、狙も亦（また）公の心を得たり。其の家口（かこう）を損（そん）じて、狙の欲を充（み）たす。俄（にはか）にして匱（とぼ）し。將（まさ）に其の食を限（かぎ）らんとし、衆狙（しゅうそ）の己（おのれ）に馴（な）れざらんことを恐るるや、先づ之を誑（たぶら）かして曰（い）はく、「若（なんぢ）に茅（とち）を与（あた）ふるに、朝（あした）に三つにして暮（くれ）に四つにせん、足れるか。」と。衆狙皆起（た）ちて怒る。俄にして曰はく、「若に茅を与ふるに、朝に四つにして暮に三つにせん、足れるか。」と。衆狙皆伏（ふ）して喜ぶ。

【語注】

- 狙公…猿を飼っている老人。
- 狙…さる。
- 家口…一家の食料。「口」は食いぶち。
- 匱し…とぼしい。欠乏する。
- 馴れざらん…なつかなくなるであろう。
- 誑かして…だまして。あざむいて。
- 若…なんじ。お前（たち）。二人称。
- 芋…とちの実。「橡（とち）」に同じ。
- 朝・暮…朝と夕暮れ。
- 伏して…ひれ伏して。平伏して。

設問

1. 重要語「狙公」の読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
2. 傍線部①「養之成群」を書き下し文に直しなさい。
3. 「能解狙之意」を書き下し文に直しなさい。
4. 「狙亦得公之心」を現代語訳しなさい。
5. 「損其家口、充狙之欲」を現代語訳しなさい。
6. 重要語「家口」の意味を答えなさい。
7. 「俄而匱焉」とあるが、何が「匱し（とぼしい）」状態になったのか、本文に即して説明しなさい。
8. 「将限其食」の「将（まさに～んとす）」は何という用法か、その名称と意味（用法）を答えなさい。
9. 「恐衆狙之不馴於己也」を現代語訳しなさい。
10. 「誑之」の「誑」の意味を答えなさい。
11. 「朝三而暮四、足乎」を現代語訳しなさい。
12. 狙公が初め「朝三而暮四」と言ったとき、猿たちはどのような反応をしたか。本文の語句を用いて答えなさい。
13. 「足乎」の「乎」はどのような意味・用法か答えなさい。
14. 狙公が次に「朝四而暮三」と言ったとき、猿たちはどのような反応をしたか。本文の語句を用いて答えなさい。
15. 重要語「芋」の読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
16. 「若」の読み（ひらがな）と、ここでの意味を答えなさい。
17. 猿に与える芋（とちの実）の一日の合計の数は、「朝三暮四」と「朝四暮三」とで違いがあるか。理由とともに答えなさい。
18. この話の中で、狙公の言葉に対する猿たちの反応は、人間のどのような態度を風刺しているか。簡潔に説明しなさい。

19. 成語「朝三暮四」の意味を二つ答えなさい。

- (1) 目先のことに關するたとえとして。
- (2) 人を扱う態度に關するたとえとして。

20. この故事「朝三暮四」の出典となっている書物を、本問の説明に従って二つ答えなさい。

21. 次の問いに答えなさい。

- (1) 「朝三暮四」と意味の上で關係が深い、目先の違いにこだわるさまを表す四字熟語が他にもある。「朝令□□」の□に入る語を補い、その四字熟語を完成させなさい（参考：方針が定まらないこと）。
- (2) 「朝三暮四」を使った短い例文を一つ作りなさい。